



# 志津南 news

志津南ホームページ  
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (12/31 現在)  
世帯数 2,235 総人口 6,180 人  
発行  
志津南学区まちづくり協議会  
Tel(fax) 077-507-6496  
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

## 立命館大学

### 「出あいプロジェクト」

～緑化活動～

去年の5月頃からだいたい月1で参加させていただきました。何もわからないわたしたちに優しく声をかけてくださったことを今でも覚えています。最初に参加させてもらった時にみなさまの熱意と優しさに触れとても感動し、継続して参加させてもらうことに決めました。



みんなで草むしりし、綺麗になった道や公園を歩くと達成感がありました。自分たちが毎日利用している

学路が多くのボランティアの方のおかげで綺麗になっていることを身をもって実感し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。普段生活しているときは気付かなかったことに気付くことができたのも参加したからこそだと思います。

秋には落ち葉掃きをさせていただき、雨に濡れた葉っぱは重くて少し掃きにくかったことを覚えています。しかし、作業しているときに道を歩いていた近所の方に感謝の言葉をいただき、もっと頑張ろうと最後まで楽しくやりきることができました。今ではとてもいい思い出です。

とても貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。  
(経済学部経済学科4回生 吉田友梨香)



志津南市民センター(公民館)は、志津南学区まちづくり協議会への指定管理者制度導入に伴い、平成29年4月1日から志津南まちづくりセンターとなりまして、全国の指定のコンビニとなりまして、これに伴い、諸証明(住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄本、所得証明書など)の発行は可能です。

成29年3月末日までとなり、4月からは、草津市役所の担当窓口か、マイナンバーカードをお持ちの方は、全国の指定のコンビニで諸証明の交付を受けることができます。コンビニでは、窓口交付に比べ手数料が100円安くなります。また、貸し館の午前、午後の利用については変更ありませんが、夜間の利用については次のように、時間帯と使用料が変更になります。

## 市民センター 4月からまちづくりセンターへ

# 証明発行業務は3月末まで

## 貸し館についても見直し

- ▼大会議室  
(現行) 17時～21時  
1,800円  
(変更後) 17時30分～21時  
1,600円

### 町内会総会日程

- ▼その他の部屋  
(現行) 17時～21時  
600円  
(変更後) 17時30分～21時  
500円

- ▼若草一丁目  
日時 4月2日(日)  
10時00分から  
(若草第一集会所)
- ▼若草二丁目  
日時 3月26日(日)  
9時30分から
- ▼若草三丁目  
日時 3月20日(月・祝)  
10時00分から
- ▼若草四丁目  
日時 3月25日(土)  
9時30分から
- ▼若草五丁目  
日時 3月19日(日)  
10時00分から
- ▼若草六丁目  
日時 3月25日(土)  
11時00分から
- ▼若草七丁目  
日時 3月20日(月・祝)  
12時30分から
- ▼若草八丁目  
日時 3月20日(月・祝)  
14時00分から
- ▼岡本町西  
日時 3月18日(土)  
17時30分から  
(若草一丁目以外は市民センター)
- ▼かがやきの丘  
日時 3月26日(日)  
9時00分から  
(きらり会館)
- ▼コージーガーデン  
日時 4月2日(日)  
10時00分から  
(自治会館)
- ▼追分南  
日時 4月22日(土)  
19時00分から  
(追分南会館)

### 来月7日に 税の申告相談

市民税・県民税の申告に関する相談会を3月7日(月) 志津南市民センターで行います。  
相談時間は午後1時から3時30分です。  
受付は12時45分から番号札をお渡しします。  
詳しくは「広報くさつ」2月1日号をご覧ください。

### お詫びと訂正

1月15日号の志津南ニュースの「きらりん 読み聞かせに真顔」の写真と「かがやきの丘 5か国語でオペラ」の写真が入れ替わっていましたので、お詫びして訂正いたします。

▼市外にお住まいの方(市内に勤務する方を除く)の使用料は、各部屋とも5割増しになります。

▽追分鴨田  
※1月29日開催済

▽まちづくり協議会  
日時 4月23日(日)  
10時00分から  
(まちづくりセンター)

趣味悠々

水石(すいせき)  
 石銘「梅林」  
 横幅 220mm  
 高さ 220mm  
 奥行 100mm  
 採石場所 愛媛県、関川石  
 制作 宮野軍司=若草6丁目



1月9日、ふれあい推進委員会(中西信五委員長)主催の左義長まつりが若草中央児童遊園で開かれ、約250人が参加しました。写真。



若草中央児童遊園  
**左義長がふれあいの場に**

ひとこと

遠く奈良、平安の時代に淵源を發したと云われる。大自然が何千万年もの長い年月をかけて一個の自然石



に刻み込んだ造化の山水景情、紋様、色彩美の妙を感受し楽しむ趣味と云える。「採石」身近な河川敷へ個人、グループで好みの石を探しに出かけ「養生」を経て水盤、加工した木台座に据えて主として個人又は「展示会」などで鑑賞される「石道」全国規模では石道として無形文化遺産の申請活動中。

新年の恒例行事として地域に浸透しており、地域住民が朝早くから多くの方がお正月のお飾りやお札などを持ち込み、参加した人たちは、おぜんざいや御神

追分町グラウンド  
**炎に無病息災を願って**



酒などが振る舞われ、新年の挨拶や普段会わない人たちの久しぶりの会話も聞こえ、有意義なふれあいの場となりました。

事前準備でご協力いただいた町内会長はじめ地域ボランティアの多くの方々に感謝申し上げます、ありがとうございました。

追分南町内会(高岡昭義会長)は1月15日午前9時から追分町グラウンドで追分町内会との合同で左義長を行いました。本来は前日の14日、16時に点火の予定でしたが強風のため翌日に順延され

**もちつき大会威勢よく**



地域協働合校推進委員会(斎藤充浩委員長)は1月28日、志津南市民センターで「もちつき大会」を開催しました。地域協働合校の事業の中でも、もちつき大会は例年参加者が多く、今回も小学生98人と地域の大人たち、合わせて約150人と大勢の人が参加しました。写真。この日はまず、子ども

たち全員の応援のもと、大人たちが威勢よくもちをつき上げました。二日目からは子どもが自分たちで順番に、掛け声に合わせながら頑張つてもちをつきました。その後、自分たちでついたお餅をちぎって丸め、きな粉・あん・砂糖醤油などをつけて食べました。また、温かい具沢山の豚汁も添えられました。子どもたちからは「つきたてのお餅は柔らかくておいしい。」「20個以上も食べ

た。」「豚汁も暖かくとてもおいしい。」などの声が聞かれ、どの顔も笑顔で満足そうでした。開催の数日前には雪が降り天候が心配されましたが、この日は晴れた空が広がりました。参加者全員が楽しい時間を過ごすことができ、子どもたちと地域の大人たちとが世代を超えて交流・協力して共に活動する、という地域協働合校の理念を実現する絶好の機会となりました。



**真剣な思いで書き初め**

若草・岡本西子ども会(田邊渚会長)は、1月7日、志津南市民センターで1年生から6年生33名で書き初め大会を開催しました。写真。書道教室を主宰する西口青咲先生(3丁目)・松浦慈さん(6丁目)指導の下、児

ました。当日は今季一番の寒波による積雪の中、円錐形に組まれた竹と共に各家庭より持ち寄られた松飾りやお札お守り等に火が付けられ白

銀の中勢い良く燃え上がりました。写真。住民、町役宮総代が見守る中、寒さを吹飛ばす炎の勢いに無病息災を願っていました。

童たちが一斉に筆をふるいました。33人が書道に集中すると、静寂の中に張り詰めた緊張感が伝わり、まさに心洗われるような、新年にふさわしい大会になりました。仕上がった作品は、同センターのサロンに1月10日〜20日まで展示し、多くの方に見ていただきました。まち協会長賞1名、市民センター長賞1名、金・銀・銅賞(各1名)、入選5名の計10名の児童が受賞しました。どの作品も、真剣な思いが込められていて、それぞれのよさが伝わってきました。ご協力いただきましたすべての人に感謝します。



# 歌で訴える人権の重要性



人権教育推進委員会(柱谷一希委員長)と志津南市民センター(公民館)共催の「人権トーク報告研修会 および人権講座」が1月28日、同センターで開催され、78人が参加しました。

「人権トーク報告研修会」では、10月8日〜11月26日にかけて各町内会で行われた人権まちづくりト

ークの報告が行われました。今年度は、延べ183名が参加しました。また、人権擁護委員の増井雅子さんが、委員の活動内容や取り組みを紹介しました。

第二部の人権講座では、草津市同和教育啓発講師団の白井洋一さんと池田隆さんの二人組ユニットA&B(エイトビート)さんを講師に迎え、トーク&ライブ「絆奏でる」と題した講演がありました。≪写真≫

「愛」の反対は「無関心」であるというマザーテレサの言葉に始まり、トークの間に歌を披露。人権差別をテーマに歌われた「♪青空／＼ブルーハーツ」では、子どもの頃かっこいいと思いついた西部劇のヒーローが怖いインディアンをやっつけるシーンに、講師自身がインディアンにマイナスイメージを受けていた事も聞きました。

また、ハイトスピーチのニュースや撫子ジャパンの差別撤廃宣言の動画で、「差別」とは何か、意識的・攻撃的なものから、無知・無

自覚なものまであること、忌避意識について説明。小学校にお勤めの二人が、いじめについて「どの学校でも起る、いじめはある」という前提で見過ぎさない意志を持って指導している。人権の授業はなくても、どの教科にも、必ず人権の要素がある。」と訴えました。

「ト手紙〜親愛なる子供たちへ〜／樋口了一」では、講師自身の体験談として、認知症への理解がなくて辛く

当たってしまった亡くなられた母親への思いが語られました。

福島差別問題では、「福島から滋賀に避難した人が、途中東京で診療拒否に遭ったと聞き、大変驚いた。社会が作り上げた問題だ。」と社会を問い直す・自分を問い直す重要性を話しました。東日本大震災の動画を紹介し、どこか他人事かと思ってしまうか?相手の気持ちになって考えることができ

ていますか?について参加者が振り返るよい時間となりました。

最後は、参加者全員で「トふるさと」を合唱しました。参加者からは、「手紙という曲を聴き、親への接し方がいい方へ変われると思っただ。」教師をしながら活動をされていることを尊敬する「スライドや歌を通しての人権の話は分かりやすい」といった声が聞かれました。



<11>

越中富山の薬売りといえは置き薬で有名ですが、全国に広まったきっかけは元禄時代に起こった「江戸城腹痛事件」にあります。

城内で急な腹痛に見舞われた三春藩主に富山藩主前田正甫が持ち合わせた自藩の薬「反魂丹」を与えたとこの劇的に腹痛が治まり、これを知った多くの大名が自

## 甦る置き薬

藩での富山売薬を懇願したことが契機となったそうです。

これ以降、富山藩では薬業(製薬、売薬、行商売薬)を奨励し、藩主の曰く「用を先にし、利を後にして医療の仁恵に浴びせざる寒村僻地にまで広く救療の志を費

通せよ」と「先用後利」の理念尊重を求めました。さらに江戸時代後期にはこの理念から配置薬ビジネスが生まれ、庶民の保健に大きく貢献しました。

これは置き薬屋さんが常備薬の入った薬箱を各地の家



の一つ置き、約半年に一度訪れてはその間に使った薬の補充と代金を徴収するシステムです。しかし、社会環境の変化により、わが国では昭和後期頃に衰退しま

した。

ところが現在、タイ、ベトナム、モンゴル、ミャンマー、ラオスなどの発展途上国では、公益財団法人日本財団

ユニセフ(国連児童基金)、JICA(ジャICA)国際協力機構)等の支援のもとに国家事業として配置薬システムの普及が図られています。

薬箱は村長宅または各戸に一つ置いて利用され、例えばある国の薬箱には咳止め薬、解熱剤、強心薬、目薬、下痢止め、鎮痛軟膏、体温計、ガーゼ、包帯、消毒液、絆創膏、薬の説明冊子が入っているそうです。

このように幕末に富山で生まれた配置薬システムは、今なお世界のあちこちで保健福祉に貢献しています。

(S・O)

## 防犯と交通安全を学ぶ



志津南やすらぎ学級第8回講座「交通安全講習会」が1月25日、志津南市民センターで行われ、学級生28人が参加しました。

草津・栗東交通安全協会志津南支部長の佐々木奉昭さんが、講師の上村傑さんの紹介をし、一部「生活安全教室(防犯と交通安全あ

れこれ)」二部・音楽マーケット「ヒゲ&ハゲ」と題した講話・演奏が披露されました≪写真≫

一部の講話では、「冠ぎ果」について、どのような時間帯に、どのような場所で犯行が起こりやすいか、またどうすれば防犯が出来るのかを、学級生みんなで「犯人の気持ち」になって考えました。また、最近急増している高齢者の交通事故について、「交通事故の当事者にならないためにはどうすれば良いのか」の講話もありました。安全運転や交通事故に対する日々の心掛けを再確認しながら学級生一同、真剣に耳を傾けていま

受講生からは、「色々披露していただき、とても楽しかった。あつという間に時間が過ぎた」と多数の声を聞くことが出来ました。

した。受付では、草津・栗東交通安全協会より、身につけることが出来る反射板が配布されました。

二部の音楽マーケットでは、大衆演劇・歌謡浪曲フルート・ハーモニカ・尺八などの楽器を演奏、それぞれの楽器の伴奏に合わせて皆で歌をいきました。

最後は、「トサギ撃退ソング」と題して、「うさぎとカメ」のメロディーにのせて学級生全員で元気に大合唱。歌いながらオレオレ詐欺など被害予防のおさらいをしました!

最後は、参加者全員で「トふるさと」を合唱しました。参加者からは、「手紙という曲を聴き、親への接し方がいい方へ変われると思っただ。」教師をしながら活動をされていることを尊敬する「スライドや歌を通しての人権の話は分かりやすい」といった声が聞かれました。

# 認知症の人への対応を学ぶ

社会福祉協議会(上田恒章会長)は1月21日、志津南市民センター大会議室で「地域福祉セミナー」を開催しました。今年のテーマは、高齢化が進み、我々が避けて通れない認知症について正しく理解するとともに、その支援ができる「認知症サポーター養成講座」とし、講師は草津市長寿いきがい課、草津市認知症キャラバンメイトの皆さんにお願いしました。

学区内から町内会長をはじめ、社会福祉委員、福祉協力員、福祉委員、民生委



参加者全員大笑い

追分南町内会「元氣くらぶ」は1月25日、いきいき百歳体操終了後、新春演芸サロンを開催し、追分町の高橋勝博さんによる落語「転失気」を演じていただきました。写真。

「医者から転失気の有無を聞かれた和尚がその意を解せず小僧に尋ねに行かせる。屁の意と知った小僧は偽って和尚に盗と告げ、それを信じた和尚の失敗談」をユーモラスに語っていただき参加者全員大笑いでした。



症キャラバンメイトの皆さんによる寸劇と認知症クイズなどに取り組みました。写真。

認知症本人とその家族が、これまでと同様に穏やかで安心してあたりまえに暮らせるよう、偏見を持たず認知症は病気であるというところを認識し、家族を温かく見守り応援することが最も重要であることが知りました。この理解への認知症の進行を抑え、家族とともに安心して生活を送れることも学びました。

認知症の人への対応の基本は「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」であることも理解しました。

また、地域の中から認知症への理解が増えることで、認知症になっても安心して暮らせるまちを住民の手によって作っていくことが重要であることを認識しました。

今回の養成講座で、認知症を自分の問題として認識し、認知症の人やその家族の気持ちを理解するように努め、周りの人や友人・家族に学んだ知識を伝えるなど、自分にできる範囲で活動してけると信じます。

「自尊心を傷つけない」「急がせない」「驚かせない」

また、地域の中から認知症への理解が増えることで、認知症になっても安心して暮らせるまちを住民の手によって作っていくことが重要であることを認識しました。

今回の養成講座で、認知症を自分の問題として認識し、認知症の人やその家族の気持ちを理解するように努め、周りの人や友人・家族に学んだ知識を伝えるなど、自分にできる範囲で活動してけると信じます。

「自尊心を傷つけない」「急がせない」「驚かせない」

また、地域の中から認知症への理解が増えることで、認知症になっても安心して暮らせるまちを住民の手によって作っていくことが重要であることを認識しました。

今回の養成講座で、認知症を自分の問題として認識し、認知症の人やその家族の気持ちを理解するように努め、周りの人や友人・家族に学んだ知識を伝えるなど、自分にできる範囲で活動してけると信じます。

## やすらぎ学級 受講生募集

志津南市民センター(公民館)は、29年度「やすらぎ学級」の受講生を募集します。

講座内容は、健康や教養、音楽鑑賞など楽しい講座や、生活に役立つ学習などを計画します。

サークル活動はカラオケ、スポーツレクリエーション、川柳、脳トレなどがあります。

▽開催日 5月から翌年3月までの原則毎月第4水曜

## やすらぎ公開講座

志津南市民センター(公民館)では、2月22日(水)に開催する第9回志津南やすらぎ学級を、一般の皆様にもご参加いただける公開講座として開催します。

内容は、「狙われる高齢者」今、旬な詐欺商法」と題し、近年その手口が巧妙化かつ悪質化している「特殊詐欺」をはじめとする悪質商法について、滋賀県消費生活コンサルタント協会

▽日時 平成29年2月22日(水)午後1時30分

▽場所 志津南市民センター(公民館)大会議室

▽対象 草津市内在住・在勤の60歳以上の方

▽参加費 無料

## 折々の記



私が小学校2年生の時に志津南小学校ができました。そして、何年後かに、運動場に大きなアスレチックができました。高さというと2階建ての1軒家よりも高く、全体は木で作られており、タイヤやロープも使用され、いろいろな遊びができるものでした。それは、私にとって、とても楽しいもので、毎日休み時間にそこで友だちと一緒に遊ん

- の皆さまにお越しいただき、寸劇などを交えながら楽しくわかり易く説明していただきます。「わたしは大丈夫」と思わずに、事例を知り、予防法を身につけましょう。皆様のご参加をお待ちしています。
- ▽日時 平成29年2月22日(水)午後1時30分
- ▽場所 志津南市民センター(公民館)大会議室
- ▽対象 草津市内在住・在勤の60歳以上の方
- ▽参加費 無料

## 資源回収

- 毎月第1・3日曜日
- ★若草1〜5丁目町内会
- 毎月第2・4日曜日
- ★若草6〜8丁目町内会
- 岡本町西町内会
- 毎月第2・4土曜日
- ★かがやきの丘町内会
- 毎月第1・3土曜日
- ★フォレストロース子供会
- 毎月第2日曜日
- ★向山子供会
- ※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・古着

## 遊びからの学び

だ記憶があります。時は経ち、時代は移りました。小学生だった私も2人の子どもを持つ歳になりました。志津南小学校のアスレチックはなくなっていました。なくなったのは必要がなくなった、ニーズがなくなったからではなく、アスレチックから落ちて怪我をする事故があり、危ないから撤去しよう、ということになったからと聞いています。なにか少しさみしい気がしました。近所にあった小さな公園にもグルグル回る遊具がありました。それも危ないという理由で